



中村まさ子の区議会レポート

2011年1月1日発行

編集・発行 市民の声・江東 江東区大島8-13-1 Tel.03-3636-1031 Fax.03-3636-1033
E-mail : usausa@js5.so-net.ne.jp ホームページ : <http://www.asahi-net.or.jp/~jv6m-nkmr>



未来へつなごう！ 環境・平和・福祉

昨年11月、38歳のいなむら和美さんが尼崎市長に当選しました。最年少の女性市長であり、日本初の2代続く女性市長でもあります。尼崎市でなぜこの快挙が成し遂げられたのでしょうか。

尼崎市は1992年、元議長のカラ出張が発覚し、その後の調査で全議員が不正な視察を行っていたことが判明しました。それを受けて、翌93年に市議会が解散、出直し選挙が行われたのです。その結果、議員定数52人のうち、新人が34人を占め、ボス支配が続いていた議会に新風が吹き込まれました。市民の監視の目が議会に向けられ、会議の原則公開・傍聴枠の拡大・情報公開への取り組みなど必然的に議会改革が進みました。市議会の不祥事に怒った市民が立ち上がり、尼崎市を大きく変えたのです。

その時に市議になった白井文さんは、2002年には市長選に当選し、2期8年間勤めました。いなむらさんは白井文さんの選挙スタッフを務め、その後兵庫県議会議員となりましたが、白井文さんの市政を継ぐため11月の市長選に立候補したのです。いなむら新市長は私も参加して

いる「みどりの未来」の共同代表でもありました。

「みどりの未来」は世界に広がっている緑の党を日本にも作りたいという人々―NGOと市民と議員の集まりです。「緑の党」は公正で持続可能な社会の実現を目指し、世界各地で政治の中核に入って平和と環境政策をリードしています。日本で初の「みどり派」市長の誕生には外国からも歓迎の声が届いています。実はいなむら新市長は10年前、仕事の関係で2年間ほど江東区の住民でした。その当時から、元気で前向きで、私もとても励まされました。

今必要とされているのは、「人を傷つけない、自然に負担をかけない、そして未来に持続可能なエコロジカルな叡智のある政治」（みどりの未来のHPより）です。それを江東区でも実現したいと思います。いなむらさんは「未来へつなごう」をスローガンに市長選にチャレンジしました。いなむらさんの当選によって尼崎市民だけでなく、公正・平和・環境保全を願う全国の市民が未来への希望をつなぐことができました。

2010年第4回 江東区議会定例会

(2010年11月28日～12月14日)

市民の声・江東 中村まさ子

医療介護保険制度特別委員会

地域密着型介護施設の 建設が決まる

新しい地域密着型介護施設と認可保育園の合築施設の指定管理者が決まりました。

介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために、24時間生活を支援する施設が地域密着型介護施設です。2006年の介護保険法改正で導入されました。

場所は新砂3丁目3-11、都営有地を区が購入して施設を建設

します。1、2階は認可保育園、3階は小規模多機能型居宅介護施設とシルバーステイ、4階は認知症高齢者グループホームになります。開所は2012年4月の予定。施設の運営をする指定管理者は「こうほうえん」、鳥取県の社会福祉法人です。

いずれも利用出来るのは原則江東区民となっています。

「こうほうえん」を指定する際の審査結果をみると、総合的に一番高い評価を得ていますが、職員配置についての点数が大変低くなっています。これは「こうほうえん」の勘違いで記入間違いがあつたことですが、職員数は施設を選ぶときの重要な指標です。入所者に対して十分な職員配置がされるよう、区は監査などを通じてきちんとチェックすることが必要です。

文教委員会

(仮称) 教育推進プラン・江東 検討委員会報告(案)

文教委員会に右の報告案が提出されました。このプランは今

年度から10年間の教育分野の長期計画です。検討委員会ではプラン素案の中から6つのテーマを特に重点事業として、プランに反映させることを提言しています。おもな提案は

①小1プロブレム対策：小1支援員の配置期間の延長
②少人数学習(少人数学級)の推進

③学校選択制：地域や保護者の意見を十分取り入れること
④学校図書館の有効活用：専任の学校司書の配置

⑤教員の資質・能力の向上：外部人材の活用や若手教員の相談窓口の整備

⑥いじめ・不登校対策：多様な居場所づくりやスクールカウンセラーの充実

など、どれも学校現場や地域・家庭からの要望を踏まえた具体的な提案が多く、是非実現に取り組んでほしいと思います。

なかでも専任の学校司書の配置は、何年も前からその重要性を訴えてきました。この報告書に盛り込まれたことは大変うれしく思います。早急な実施を求めたいと思います。



〈自治会連合会との懇談会〉

旧3大小、旧南小の跡地利用について

今年も自治会連合会と大島議員団の懇談会が開催されました。各議員が割り振られたテーマについて報告しますが、私は以下のご報告をしました。

3大小跡地は約6900㎡あり、そのうち4000㎡に特別養護老人ホームの建設が計画されています。残りの土地の利用は未定です。現在、ヒ素などによる土壌汚染の調査を進めていますが、3月末に調査結果が得られます。地元の皆さんの要望を取り入れた計画になるよう事業者の公募条件を検討するそうです。また、旧南小跡地は2019年までは小中学校の建て替え時の仮校舎用地として使うため、通常よりしっかりとプレハブ校舎を建設しています。その後のことは未定です。



11月30日 公契約条例学習会の講師と

中村まさ子の収支報告					
	2010年	10月	11月	12月	冬季手当
収入	議員報酬	611,000	611,000	611,000	1,377,652
	費用弁償	50,000	20,000	25,000	0
支出	所得税	31,200	31,200	-139,212	203,900
	住民税	45,900	45,900	45,900	0
	共催掛金	97,600	97,600	97,600	103,275
	国民健康保険料	70,240	70,240	70,240	0
	共有会費	2,000	2,000	2,000	0
	生活費、活動費	300,000	300,000	300,000	500,000
	共に歩む会へ	114,060	84,060	259,472	570,477

★費用弁償は見直しを求めています。方針が決まるまで平成19年5月から別枠で積み立てます。

江東区の 全国学力調査の結果

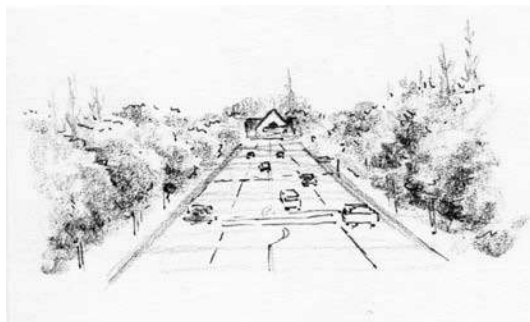
11月、大島地区子ども会連合会主催で教育問題について研究協議会が開かれました。そこでも大島地区の議員がそれぞれのテーマについて報告し、意見のやりとりがありました。私のテーマは「大島地区の学力の現状と対応策」です。しかし、大島地区に限定した学力調査の結果は出ておらず、江東区全体の傾向を報告することになりました。

小学生は国語、算数ともに全国平均、都平均よりよい成績が出ています。しかし残念ながら、中学生では昨年度・今年度続けて国語も数学も国・都の平均点より低い結果です。教育委員会では「中でも数学の方程式や等式の変形について正答率が低い。中1段階での習熟度別指導が大切、問題を解く過程に重点を置いた学習が必要」と総括しています。数学については小学校分野にさかのぼって、一人一人の理解度に応じた対応が必要ではないでしょうか。

■主な議案の賛否 (2010年第4定例会)

※私の賛否は「市民の声」を見て下さい。

議案 (名称は一部省略してあります)	市民の声	自民ク	公明	民主ク	共産	無所属	議案のポイント
男女共同参画推進センター条例の改正	○	○	○	○	○	○	指定管理で行ってきたセンターの運営を区の直営に戻す
江東きッズクラブ条例の改正	○	○	○	○	○	○	きッズクラブを7ヶ所新設し、元加賀と砂町の学童クラブを廃止
地区計画の区域内における建築物の制限条例の改正	×	○	○	○	×	○	有明北地区における34階建てマンション計画に伴う改正。環境への負荷と持続可能なまちづくりの視点から反対。
地域密着型介護施設条例	○	○	○	○	○	○	高齢者の緊急時のショートステイ等を行う施設を新砂に設置。同じ建物の中の保育施設と一体的に運営
都市再生機構賃貸住宅の家賃改定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	URの家賃の据え置き・引き下げ等を求める。陳情から採択



上原ひろ子さん講演会

◆上原ひろ子さん 講演会

8月21日、前国立市長の上原ひろ子さんの講演会を開きました。上原さんは景観裁判の原告として闘い、その後99年に市長に当選しました。市長になってからは「お任せ民主主義」でない、市民が主役になる市政を苦勞して作りあげてきました。

十分な予算がつけられないなか、市民が桜守になったり、公園の管理や商店街の活性化に取り組む様子を、美しい映像とともに語っていただきました。

講演会後の少人数の懇談の中で、市長時代は背骨がひしゃげるような重圧を感じていたという話をお聞きし、華奢な上原さんにみなぎる意志の力を感じました。

◆三井マリ子さん 講演会

11月13日にフェミニスト議員連盟の大先輩であり、女性政策研究や男女平等推進に取り組んでこられた三井マリ子さんの講演会を開きました。

昨年出版した著書「髭のノラ」



三井マリ子さん講演会

を引用し、男女平等先進国であるノルウェーの歴史と現在をお話いただきました。ノルウェー国民は「平等・質素・自然に近く」という価値観を持っているそうです。60年代からの女性解放運動が実を結び、現在では働く女性に優しい福祉社会が実現しています。保育園が充実し、男性の育児休暇は当然のこと、介護も24時間体制が用意されています。そして、世界で住みやすい国NO1に7回も選ばれました。私が用意した資料にある江東区の女性議員数の推移や保育園の待機児数と比べながら、今後の江東区の課題を再認識した次第です。

湯浅誠 講演会

ひんこんしゃかい きぼう つむ しゃかい
貧困社会から希望を紡ぐ社会へ



湯浅誠さんプロフィール

NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長、反貧困ネットワーク事務局長。現代日本の貧困問題を現場から訴えつづける。

2008～09年 年末年始の「年越し派遣村」では村長を務める。2009年10月、内閣府参与に就任。雇用対策本部内に設置された貧困・困窮者支援チームの事務局長を務める。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。

1969年生。

2009年の総選挙で政権交代が成し遂げられましたが、残念ながら民主党政権は内外で混迷を深めています。なかでも雇用の悪化と貧困化の進行は日本社会の持続可能性を危うくする大きな要因です。

江東区でも、雇用悪化と貧困が区民生活に影を落としています。市民の声・江東では2008年5月に湯浅誠さん講演会「人ごとじゃない！貧困大国日本」を開催し、貧困問題が個人の問題ではなく社会全体で解決すべき政治課題であることを強く認識させられました。

私たちは再び湯浅誠さんをお迎えして、今度は貧困社会から希望を紡ぎ出す社会への手がかかりをお話いただきたいと思います。

どなたでもご参加いただけます。是非、お出かけ下さい。

●日時：2011年2月27日（日） 午後6時

●会場：カメラアブラザ（亀戸文化センター）5階

第1，第2研修室

亀戸2-19-1 JR亀戸駅徒歩1分

TEL (5626) 2121

★参加費無料★

<中村まさ子の活動日誌（抄）>

- 11月5日 23区民自治の会
- 11日 市民の声・江東会議
- 12日 もみじ幼稚園30周年
- 13日 三井マリ子さん講演会
- 14日 東京朝鮮第2初級学校学芸会
- 16日 区政勉強会
- 17日 生ごみ堆肥づくり講座
- 18日 松戸市議選応援
- 20日 子ども育成会研究協議会
- 21日 一大小120周年、ふれあい江東ユニオン定期総会、都民基金会議
- 22日 フェミ議世話人会
- 25日～12月14日 第4回区議会定例会、市民の声・江東会議
- 27日 江東病院内覧会
- 28日 大島9丁目自治会20周年
- 29日 東部集會会議
- 30日 公契約条例学習会
- 12月2日 自治会連合会との懇談会
- 6日 キルトクラブうさうさ
- 9日 市民の声・江東会議
- 14日 区政勉強会、市民の声・江東会議
- 18日 市民の声・江東区政報告会、望年会
- 20日 全員協議会



11月17日、えこっくる江東の講座に参加して、ベランダでできる生ごみ堆肥づくりを始めました。臭いませよ。

▼年4回、区議会レポートと、その他講演会・学習会などのご案内をお送りします。
 ▼定例会は毎月第2土曜日と第4金曜日の午後7時30分から中村事務所にて開きます。
 ▼年会費は三千円。
 郵便振替 00100-2-22988



中村まさ子と共に歩む会